

# 日本の多言語表示にみる日中韓3言語の漢語の使用

— 交差する漢字文化圏と共通語彙の状況を中心に —

尹 亭 仁

要旨：本稿では、日本の言語景観、とりわけ漢語の用法に注目し、日中韓の3言語の共通語彙を中心に現状を取り上げた。共通語彙が多い中で離れていく語彙や関連する外来語の動きについても論じた。

観光立国を掲げている日本において、多言語表示はさらに増えると予想する。言語景観は視覚教材、文脈付きの視覚辞書のような側面を持っており、景観の中の漢語は大学における外国語教育にも役立つ。韓国語の漢語の場合、中国語だけでなく日本語からの影響も大きく、近代化の中で作られた多くの漢語は日韓両言語で共通語彙として機能している。漢語は今後も相互の理解語彙としての役割を果たすと思われる。

キーワード：言語景観、漢字文化圏<sup>(1)</sup>、漢語、共通語彙、理解語彙

## 1 はじめに

2022年現在、日本では図1～図4のように、日本語・英語・中国語・韓国語の4言語表示が概ね基本になっている<sup>(2)</sup>。この図1～図4には、日本・中国・韓国で用いられている漢語が共通しており、それぞれの漢語の「出発」「歓迎」「勤労会館」「美術館」に中国語は簡体字が、韓国語はハングルが表記されている。



図1 出発（羽田空港）



図2 歓迎（福岡）

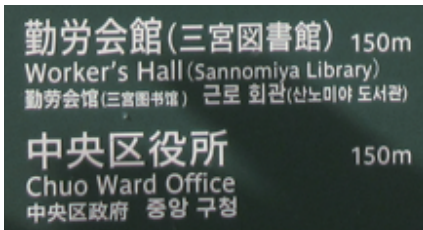


図3 勤労会館（神戸）



図4 美術館（横浜）

図1～図4の日本語・中国語・韓国語の対応を整理すると(1)のようになる。

(1) 日本語	中国語(繁体字)	韓国語(ハングル)
出発	出发	출발
歓迎	欢迎	환영
勤労会館	勤劳会馆	근로회관
美術館	美术馆	미술관

地域によっては図5～図8の「公園」「事務室」「国際線」のように主に台湾で用いられている「繁体字」を含む5言語表示も見られる。韓国語の辞書の見出し語に併記される漢字はこの繁体字に近い<sup>(3)</sup>。図8は那覇空港であるが、図7の長崎空港と違って繁体字中国語が簡体字中国語より先に表記されている<sup>(4)</sup>。



図5 公園(金沢)

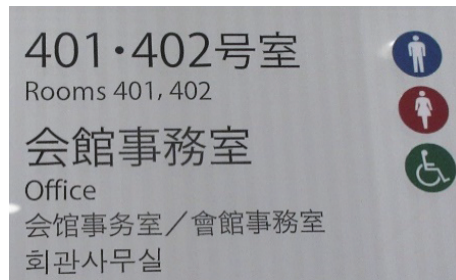


図6 事務室(富山)



図7 国際線(長崎)



図8 国際線(沖縄)

図5～図8の日本語・簡体字中国語・繁体字中国語・韓国語を整理すると(2)のようになる。

(2) 日本語	簡体字中国語	繁体字中国語	韓国語(ハングル+漢字)
公園	公园	公園	공원(公園)
事務室	事务室	事務室	사무실(事務室)
国際線	国际线	國際線	국제선(國際線)

一方で、図3の「区役所」、図9と図10の「喫煙所」や「市役所」のように、日中韓でそれぞれ異なる漢語を用いる表示も多々ある。図9のように、4言語に加えてフランス語が見られたり(横浜)、ロシア語が見られたりする場合(新潟)もある(図22, 図60参照)。日本の言語景観に映し出された漢字・漢語の使用に地域性も出てきている<sup>(5)</sup>。



図9 喫煙所（横浜）



図10 市役所（鎌倉）

日中韓の3言語は(3)のように異なる語彙で対応する場合もあるが、全く違うわけではなく微妙に違っている。「漢字による意味の制約」を受けているとも言えそうであるが、「漢字による意味の助力」を得ているとも言えそうである。

(3) 日本語	中国語	韓国語（ハングル+漢字）
区役所	区政府	구청(區廳)
市役所	市政府	시청(市廳)
喫煙所	吸烟处	흡연소(吸煙所)

本稿では、図1～図10のような日本における多言語表示、とりわけ日中韓の漢字・漢語表示の使用状況を共時的観点から取り上げたい。また、この多言語表示から今後の漢字・漢語が相互の「理解語彙」として機能する可能性についても触れておきたい。

## 2 先行研究の考察

「言語景観」については、R. Landry & R. Y. Bourhis（1997：25）が「特定の領域あるいは地域の共時的・商業的表示における言語の可視性と顕著性」と定義して以来、これが一般的定義として受け止められている。日本の言語景観に目を転じると、2022年現在、日本語・英語・簡体字中国語・韓国語表示が普通と言えるほど展開されており、地域によっては繁体字中国語・タイ語・フランス語も見られる。佐渡島・小林・齋藤（2009：125）によると、1999年当時ローマ字併記の地下鉄案内板標識はかなり普及しており、日本語のみの標識は少なかった。

ペート・バックハウス（2011）では東京を事例として日本の多言語化について丹念に取り上げており、尹亭仁（2015）ではソウルの多言語表示、とりわけ中国語の表記が勢いを増している現状が取り上げられている。韓国では空港、地下鉄駅のみならずソウル市役所や商業施設などで韓国語・英語・中国語・日本語の4言語表示が見られ、日本の言語景観に類似している。台北でも韓国と似たような状況が見られた。多言語表示の動きと相まってかつてない漢字・漢語表記が目に入る時代となったと言える。

磯野英治（2020）は言語景観をテーマ別に取り上げ、1つの学習書として提示している。尹亭仁（2020）は日本における韓国語の言語景観、とりわけ、日韓両言語における共通漢語を韓国語教育に生かせる可能性を具体的に提示している。このように、言語景観を言語教育に生かそうとする動きも出てきている。

### 3 公共表示と民間表示

言語景観は「公共表示」と「民間表示」に分けられる。まずはこれらの違いと日本の「公共表示」にガイドラインを提示している観光庁の多言語政策についても取り上げたい。

#### 3.1 公共表示

「公的表示」とも言い、主に公共の場や公共機関で見られる「案内」や「禁止」などの表示を指す。本稿で用いるほとんどの図は公共表示に分類されるものである。

#### 3.2 民間表示

「私的表示」とも言い、主に民間の商業施設などで目にする「広告」や「宣伝」などの表示を指す。民間表示の場合、商品の紹介、価格の提示、購買を誘う文言に至るまで、実に様々な表示がみられる。

公共表示と民間表示の違いは、公的機関からかまたは民間からかの表示主体より表示内容が「公益」か「私益」かによるところが大きい。bottom-up と top-down のような分類もなされており、それぞれ民間表示と公共表示と重なる部分がある。

#### 3.3 観光庁の多言語表示に関する政策

日本における公共表示には国土交通省の外局である観光庁のガイドラインが関わっている。自治体によって特徴も出ているが、観光庁が平成 26 年（2014 年）3 月に出した「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」に沿っている場合が多い。これには、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」（平成 25 年 6 月観光立国推進閣僚会議決定）に基づき、美術館・博物館、自然公園、観光地、道路、公共交通機関等において、外国人目線に立った共通するガイドラインの策定により、多言語対応の改善・強化を図るとともに、組織の評価を行う」と記されている。また「共通ガイドラインに記載する主な項目・特徴」には 400 以上の用語・文例に対する「具体的な対訳語」まで提示されている。これによると、日本における多言語表示は（4）の 3 項目、7 種類になる。これを見ると、民間表示との違いが一目瞭然である。

##### （4） 共通ガイドラインに記載する主な項目・特徴

- ① 禁止・注意
- ② 名称・案内・誘導・位置
- ③ 展示物等の文章解説

本稿では、この 7 種類に沿った分類までには至っていないが、①の禁止・注意を中心に更なる分析を試みている。

### 4 日中韓の 3 言語の漢語表示の現状

#### 4.1 日中韓 3 言語での共通語彙

本稿では、「共通語彙」という用語を用いるが、これは簡体字中国語であれ、ハングルを用いる韓国語であれ、同じ漢語がベースになっていて、意味的に共通していることを指す。また、自分で話したり書いたりして普段使う「使用語彙」と自分は使わないが聞いたり読んだりして意味が分かる「理解語

彙」も随時用いる。

どのような漢語が3言語間で共通語彙として用いられているかを見てみよう。以下では、日本語と韓国語の間に入っている簡体字中国語は太字で表わすことにする。韓国語はハングルの後ろに漢字を併記する。



图 11 地区／**地区**／지구(地區)



图 12 学校／**学校**／학교(學校)



图 13 海拔／**海拔**／해발(海拔)



图 14 正面／**正面**／정면(正面)

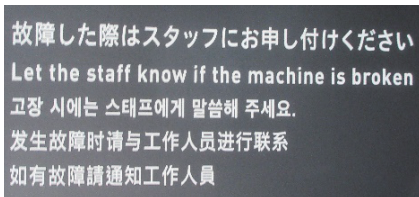


图 15 故障／**故障**／고장(故障)



图 16 営業時間／**营业时间**／영업시간(營業時間)



图 17 中央／**中央**／중앙(中央)

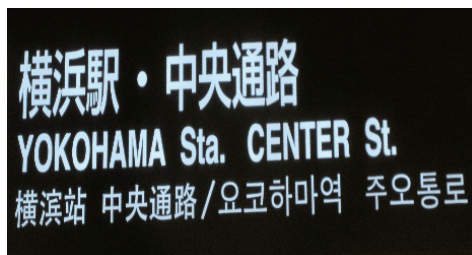


图 18 通路／**通路**／통로(通路)



図 19 会議室 / 会议室 / 회의실 (會議室)



図 20 観光 / 觀光 / 관광 (觀光)



図 21 旅館 / 旅馆 / 여관 (旅館)



図 22 図書館 / 图书馆 / 도서관 (圖書館)



図 23 美術館 / 美术馆 / 미술관 (美術館)



図 24 博物館 / 博物馆 / 박물관 (博物館)

ここまで日中韓の3言語間の共通語彙を見てきたが、「館」は「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」(2014)に記されているように、公共表示として案内に多く用いられている。これを1つのキーワードにして3言語の派生状況を見てみると(5)のようになる。日本語と韓国語はほとんど対応しているが、中国語は一部が対応していないことが分かる。

(5) 「一館」の用法にみる日中韓3言語の対応

日本語	中国語	韓国語 (ハングル+漢字)
会館	会馆	회관(會館)
開館	开馆	개관(開館)
新館	新馆	신관(新館)
入館	入馆	입관(入館)
休館	休馆	휴관(休館)
閉館	闭馆	폐관(閉館)
本館	本馆	본관(本館)
別館	—	별관(別館)
洋館	—	양관(洋館)

旧館	—	구관(舊館)
記念館	纪念馆	기념관(記念館)
体育館	体育馆	체육관(體育館)

尹亨仁(2020)では、日本語に引っ張られて直訳された韓国語について取り上げている。今回の調査で中国語においても類似した例が見られた。図25と図26の「警察署」および図27の「都心」がそれである。それぞれ「公安局」「市中心」が一般的な用法のようである<sup>(6)</sup>。実際、北京の街中からは図28と図29のような「公安局」の表示が見られた。また、図25に「消防署」が表示されているが、筆者が北京で見かけたのは「消防站」である。

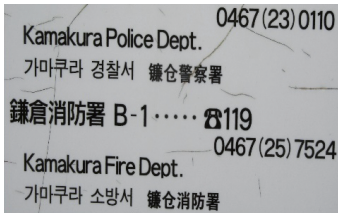


図25 警察署/?/경찰서(警察署)



図26 警察署/?/경찰서(警察署)



図27 都心/?/도심(都心)



図28 中国の「公安局」(北京・2022)



図29 中国の「公安局<sup>(7)</sup>」(北京・2022)

韓国語の場合、図30と図31のような例が挙げられる。「주륜장(駐輪場)」「천연수(天然水)」は韓国語にない語彙である。日本語の「駐輪場」と「天然水」の用法に引っ張られたと思われる。



図30 駐輪場: 주륜장(駐輪場)(福岡)



図31 天然水<sup>(8)</sup>: 천연수(天然水)(沖縄)

#### 4.2 日韓では共通語彙，中国語は異なる場合

日本の言語景観には、日韓両言語では共通語彙であるが、中国語は異なる漢語を用いる対応が多い。

筆者が集めた言語景観の調査資料からは、日中韓の3言語の漢語が共通する用法より日韓両言語が共通して、中国語は異なる漢語を用いる例が多い。まず、用例を見てみよう。



図32 駐車場／停车场／주차장(駐車場)



図33 地下鉄／地铁／지하철(地下鉄)



図34 案内／问讯／안내(案内)



図35 新聞／报纸／신문(新聞)



図36 消火器／灭火器<sup>9)</sup>／소화기(消火器)



図37 到着／到达／도착(到着)



図38 菓子／零食／과자(菓子)

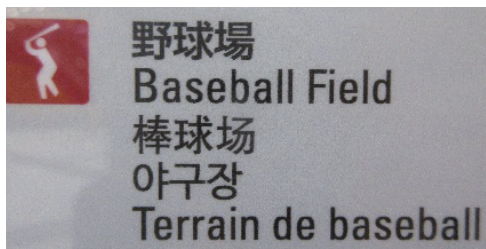


図39 野球場／棒球场／야구장(野球場)

ここまでの用例から、また(5)の「館」の用例からも日韓両言語より中国語の漢語の用法が離れていることが分かる。図39の「野球場」を手掛かりにスポーツ種目の関連語を調べたのが(6)である。



## (6) スポーツの種目にみる日中韓3言語の相違

日本語	中国語	韓国語 (ハングル+漢字)
体操	体操	체조(體操)
水球	水球	수구(水球)
卓球	乒乓球	탁구(卓球)
水泳	游泳	수영(水泳)
野球	棒球	야구(野球)
テニス(庭球)	网球	테니스/정구(庭球)
ドッジボール	投球戏	피구(避球)
バスケットボール(籠球)	籃球	농구(籠球)
バレーボール(排球)	排球	배구(排球)
サッカー(蹴球)	足球	축구(蹴球)
アイスホッケー	冰球	아이스하키
バドミントン	羽毛球	배드민턴
スキー	滑雪	스키

日中韓3言語で同じ漢語を用いるのは「体操」と「水球」で、「卓球」「水泳」「野球」は日韓で、「バスケットボール」と「バレーボール」は中韓で漢語を用いていることが分かる。日本語にも「籠球」「排球」があったが今は「バスケットボール」と「バレーボール」が普通になっている。サッカーも韓国と同様に「蹴球」という言葉があるが、もはや使用語彙ではないと思われる<sup>(10)</sup>。「バドミントン」と「スキー」の場合、日韓では外来語を用いている。今後このように翻訳せずに受け入れる外来語の存在と従来の漢語の外来語への置き換えなどにより漢語の使用は狭まれ、漢語によって支えられてきた3言語の「共通性」は少しずつ離れていく可能性が高い。

## 4.3 日中で共通語彙, 韓国語は異なる場合

日本の言語景観からは見つかっていないが、(7)のような語が挙げられる。

## (7) 日中で共通する語彙

日本語	中国語	韓国語
a. 漢語		
空調	空调	—
異様	异样	—
空車	空车	—
b. 和語・混種語		
傷口	伤口	—
物語	物语	—
場合	场合	—
街角	街角	—
大掃除	大扫除	—

筆者は今北京で言語景観の調査をしながら本稿を書いているが、この類はほとんど見当たらない<sup>(11)</sup>。タクシーの「空車/空车」は先日見つけた共通語彙である。韓国では、「空車/空车」と同じ意

味ではあるが、漢語の「空」ではなく固有語の「空いている」を用いた「빈 차」を用いる。

ここで、日中韓の語種について整理しておきたい。多くの日本語の概説書で取り上げられているように、日本語の語彙は(8a)のように「和語」「漢語」「外来語」「混種語」の四種に分類できる。韓国語の語彙も用語は異なるものの、(8b)のように四種に対応する分類になっている<sup>(12)</sup>。(8c)の中国語の場合、日韓両言語とは「外来語」と「混種語」においては似ているが、「和語」と「漢語」の対応においては異なっている。

(8) 日中韓 3 言語における語種

a.	日本語：和語	漢語	外来語	混種語
b.	韓国語：고유어(固有語)	한자어(漢字語)	외래어(外來語)	혼종어(混種語)
c.	中国語：共通語	土汉语	外来词	混合语

4.4 中韓で共通語彙，日本語は異なる場合

日本の言語景観に映し出された中韓の共通語彙を見てみよう。

図 40 は「换乘／환승(换乘)」，図 41 は「综合／종합(綜合)」である。

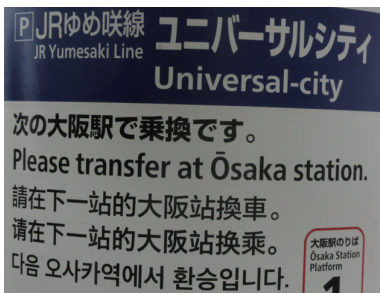


図 40 换乘／환승(换乘)



図 41 综合／종합(綜合) (東大病院)

こちらの類は日中の共通語彙と違って予想以上に多く，筆者は驚きながらリストを整理している。動詞と名詞に分けて見てみよう。

(9) 中韓で共通する語彙 (動詞)

中国語	韓国語 (ハングル+漢字)	日本語
开学	개학(開學)하다	—
落后	낙후(落後)하다	—
铭心	명심(銘心)하다	—
放学	방학(放學)하다	—
入住	입주(入住)하다	—
接受	접수(接受)하다	—
提高	제고(提高)하다	—

(9)は，韓国語は漢語動詞であるが，日本語に対応する同じ漢語動詞がないため，説明を施している類である。日韓両言語にはともに 7000 語以上の 2 字漢語動詞があり，筆者は「韓日漢語動詞 7000」(仮称)と名付けた基本資料集を作成した。現在この資料集に基づいて，中国語の動詞も加える作業を

している。

(10) 中韓で共通する語彙（名詞）

中国語	韓国語（ハングル+漢字）	日本語
江山	강산(江山)	—
景致	경치(景致)	—
近处	근처(近處)	—
图章	도장(圖章)	—
到处	도처(到處)	—
名单	명단(名單)	—
文件	문건(文件)	—
邮票	우표(郵票)	—
粉红色	분홍색(粉紅色)	—
相思病	상사병(相思病)	—

(10) は、名詞が特定の言語で占める割合を考えると、(9) の漢語動詞より多いはずである<sup>(13)</sup>。筆者の関心事は漢語動詞であるため、動詞以外は積極的に集めていないが、今まで集めた語彙の品詞分類をしながら傾向を見ている。(9) や (10) の言葉が中国語から入ってきたことは驚きである。

4.5 共通語彙であるが、語種が異なる場合

一見日中韓の共通語彙に見えるが、語種を異にする語彙もある。

4.5.1 日本語は和語、中韓は漢語の場合

まず、言語景観から用例を見てみよう。



図 42 取り消し／取消／취소(取消)



図 43 手続き／手続／수속(手續)



図 44 場所／場所／장소(場所)



図 45 広場／广场／광장(廣場)



図 46 窓口／窗口／창구(窓口)

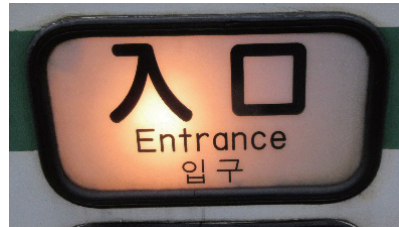


図 47 入口／入口／입구(入口)



図 48 出口／出口／출구(出口)



図 49 出口／出口／출구(出口)

日本の駅などでよく見かける図 42～図 49 の用法を整理すると、(11) のようになる。

- (11) 日本語は和語、中韓では漢語の例<sup>(14)</sup>
- |      |     |               |
|------|-----|---------------|
| 日本語  | 中国語 | 韓国語 (ハングル+漢字) |
| 手続き  | 手续  | 수속(手續)        |
| 取り消し | 取消  | 취소(取消)        |
| 広場   | 广场  | 광장(廣場)        |
| 場所   | 场所  | 장소(場所)        |
| 窓口   | 窗口  | 창구(窓口)        |
| 入口   | 入口  | 입구(入口)        |
| 出口   | 出口  | 출구(出口)        |

最近、図 50 の「入口」のように、韓国語は固有語動詞を用いた「들어가는 곳(入るところ)」になっているところもある。ソウルでは、図 51 の「환승(換乗)」や図 52 の「출구(出口)」においても、固有語動詞を用いた「갈아타는 곳(乗り換えるところ)」と「나가는 곳(出るところ)」の表示が増えている。



図 50 入口／들어가는 곳



図 51 乗り換え／갈아타는 곳



図 52 出口／나가는 곳

ここまで、日本語は和語・混種語なのに、中韓両言語は漢語として用いられている例を取り上げた。また韓国語に見られるようになった固有語表示への変化についても触れた。

#### 4.5.2 日本語は和語か混種語、韓国語は漢語の場合

日本語の影響を強く受けているのは中国語より韓国語の方である。上記で取り上げた用例以外にも多く、筆者が集めた語彙だけでも 300 語に近い<sup>(15)</sup>。まず、言語景観から見てみよう。



図 53 手荷物(てにもつ)／수하물(手荷物)



図 54 待合室(まちあいしつ)／대합실(待合室)



図 55 改札口(かいさつぐち)／개찰구(改札口)



図 56 搭乗口(とうじょうぐち)／탑승구(搭乗口)

図 53～図 56 の対応を整理すると (12) のようになる。

#### (12) 日本語の和語・混種語に対応する韓国語の漢語

日本語	韓国語 (ハングル+漢字)	中国語
手荷物	수하물(手荷物)	行李
待合室	대합실(待合室)	候船室
搭乗口	탑승구(搭乗口)	登机口
改札口	개찰구(改札口)	剪票口

(12) 以外にも (13) のような漢語動詞, (14) のような漢語名詞が挙げられる。

(13)	日本語は和語, 韓国語は漢語の場合 (動詞)		
	日本語	韓国語 (ハングル+漢語)	中国語
	出入りする	출입(出入)하다	出入
	支払う	지불(支拂)하다	支付
	引き上げる	인상(引上)하다	提高
	立ち会う	입회(立會)하다	在场
	追い越す	추월(追越)하다	超过

(13) の類について, 尹亨仁 (2015b) で日韓両言語において誤用につながる「負の転移」の1つとして取り上げられている。すなわち, 語種が異なるため, 読み方が間違いやすく学習の妨げになっているのである。

(14)	日本語は和語・混種語, 韓国語は漢語の場合 (名詞)		
	日本語	韓国語 (ハングル+漢語)	中国語
	時計	시계(時計)	钟表
	海辺	해변(海邊)	海边
	女神	여신(女神)	女神
	乳母車	유모차(乳母車)	婴儿车
	運動靴	운동화(運動靴)	运动鞋

近年は, 日本語からの影響があまりないと思っていたが, ドラマのタイトルに韓国語の辞書にない「真剣勝負: 진검승부(眞劍勝負)」がつけられたり「和菓子: 화과자(和菓子)」がデパートに民間表示として出ていたりした。「老舗: 노포(老舗)」もわりと耳にするが, 中国語の「老舗子」の影響かどうかは定かではない<sup>16)</sup>。長年辞書作りに携わってきた筆者はそのうち「진검승부(眞劍勝負)」と「화과자(和菓子)」は辞書に載ると見ている。

ここまで, 日本の言語景観で可視化されている日中韓の3言語の共通語彙について取り上げた。多くの共通語彙が用いられている中で, 日韓だけ共通する語彙が少なくないこと, 中には中韓だけ共通するもの, 漢語に見えても和語か混種語のものなどの使用についても例を挙げて取り上げた。韓国語は日中両言語から多くの漢語を取り入れてきていたが, その様子的一端が確認された。その中で和語や混種語が漢語化している類についても触れた。

## 5 言語景観に映し出された3言語の関係

### 5.1 寄り添うものと離れていくもの

図1~図8で示したように, 日中韓3言語には共通する語彙が多い。しかし, 当然ながら離れていく語彙も少なくない。その中で, 図57の「祈祷室」と図58の「在来線」のように, 新たな共通語彙も見られる。

また, 図59の「県庁」と図60の「県立」のように, これ以外の訳語がない場合もある。中国に「县」があるが, これは「県」より小さい行政区画で, 約2000か所あると言われている。韓国にはそもそも「県」という行政区画がない。それでも日本語に合わせて県に表記している。中国からすると「省」に, 韓国からすると「道」に近いが, 敢えて「県」にしている。



図 57 祈祷室／**祈禱室**／기도실(祈禱室)



図 58 在来線／**在来线**／재래선(在来線)



図 59 県庁／**县厅**／현청(縣廳)



図 60 県立／**县立**／현립(縣立) (新潟)

図 61 と図 62 の場合、韓国語は日本語に合わせた訳語になっている。図 57～図 62 はいずれも韓国語の辞書にない語彙である。しかし、韓国語に理解語彙としての機能を果たしている。中国語の場合は図 62 のように現地での表記とずれがある。場所を表わす「所」の影響を受けていると思われる（図 63 参照）。今後新しいシステムや物が登場した場合、このように影響し合う形での受け入れも増えていくと思われる。「기도실(祈禱室)」や「정산기(精算機)」なども韓国語の辞書に載るのではなかろうか。



図 61 精算機／**结算机**／정산기(精算機)



図 62 精算所／**补票处**／정산소(精算所)



図 63 补票(北京・2022)

## 5.2 外来語による分化

日中韓 3 言語において、もっとも多くの新語が作られている語種は外来語だと思われる。どのような様子が見られているか、言語景観から見てみよう。

### 5.2.1 日韓ではともに外来語

日韓両言語の場合、漢語の次に学習につなげやすいのが外来語の存在である。筆者は韓国語の授業で漢語と一緒に外来語との共通性についても取り上げている。



図 64 ホテル／호텔



図 65 レストラン／레스토랑

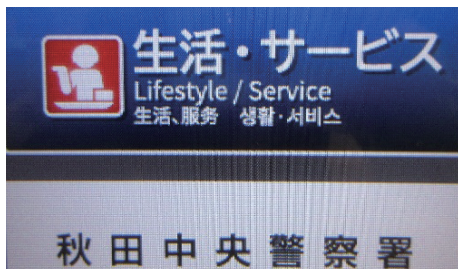


図 66 サービス／서비스



図 67 カート／카트



図 68 ターミナル／터미널



図 69 タクシー・レンタカー／택시·렌터카

図 64～図 69 の対応を整理すると (15) のようになる。

- (15) 日韓両言語における外来語の対応
- |       |            |
|-------|------------|
| 日本語   | 韓国語 (ハングル) |
| ホテル   | 호텔         |
| レストラン | 레스토랑       |
| サービス  | 서비스        |
| カート   | 카트         |
| ターミナル | 터미널        |
| タクシー  | 택시         |
| レンタカー | 렌터카        |



今後、日韓両言語において、特に英語からの外来語は増えていくと思われるが、お互いに正確な発音は難しいが、意味は無理なく通じるだろう。漢語に次ぐ理解語彙として共通性が高まると思われる。

### 5.2.2 日本語は外来語、中韓は漢語

外来語の中に、日本語は外来語で中韓は漢語の場合もある。図70や図71のように、日本語の場合は外来語の方が発音しやすい部分はあると思われる。このような傾向についてはそれぞれの言語の語構成の特徴も視野に入れて考察を深める必要がある。



図70 チャージ／充值／충전(充填)



図71 コインロッカー／投币式寄存柜／  
물품보관함(物品保管函)



図72 コンビニ／便利店／  
편의점(便宜店)



図73 トイレ／洗手间<sup>(17)</sup>／  
화장실(化粧室)

### 5.2.3 3言語ともに外来語

日中韓3言語ともに外来語を用いるということは、いずれの言語も従来の「意味」を重視した受け入れでなく「音」を重視した受け入れになったことを意味する。図74を見てみよう。この「拿鉄」という中国語は、筆者のように中国語があまりできない人でも、カフェで見かけたとき「ラテ」であることが分かった。隣の意味で捉えた「美式」は言うまでもない。図75は電気自動車のテスラの中国語表記である。このように、同じ漢字でなくても理解の助けになるところもある。これは漢字文化圏の人たちが持っている「言語資産」としての漢字がもたらす恩恵のように思われる。



図 74 ラテ／拿铁／라떼(北京・2022)



図 75 テスラ／特斯拉／테슬라(北京・2022)

ここまでの日中韓 3 言語での漢語使用および関連する一部の外来語の対応を〈表 1〉にまとめた。

〈表 1〉言語景観から捉えた日中韓 3 言語の語彙の対応

I	II	III	IV	V	VI	VII
日中韓で 共通	中国語は 簡体字	日中で共通	日韓で共通	中韓で共通	日本語は和語 他は漢語	それぞれ 異なる
地区	出發／出发	天然水	警察署	강산(江山)	取り消し	喫煙所
学校	歡迎／欢迎	空車	都心	개학(開學)	手続き	区役所
海拔	勤勞／勤勞	空調	駐車場	경치(景致)	場所	市役所
正面	運行／运行	異様	地下鉄	근처(近處)	広場	郵便局
故障	公園／公园	場合	案内所	낙후(落後)	窓口	チャージ
地区	營業／营业	街角	新聞	도장(圖章)	入口	コインロッカー
中央	時間／时间	傷口	消火器	도처(到處)	出口	コンビニ
通路	會議室／会议室	大掃除	到着	명단(名單)	眼鏡	トイレ
体操	觀光／观光		菓子	명심(銘心)		
水球	雜誌／杂志		野球場	문건(文件)		
消火栓	會館／会馆		精算機	방학(放學)		
	開館／开馆		精算所	우표(郵票)		
	新館／新馆		和菓子	입주(入住)		
	入館／入馆		消防署	접수(接受)		
	本館／本馆		空港	제고(提高)		
	旅館／旅馆		駅	종합(綜合)		
	図書館／图书馆		多目的	환승(換乘)		
	美術館／美术馆		病院	분홍색(粉紅色)		
	博物館／博物馆		展望	상사병(相思病)		

この〈表 1〉の日中韓 3 言語の共通語彙を見て、もっと整理したリストがほしいと思うのは筆者だけではないだろう。21 世紀に入ってから日本の観光立国の動きと相まって急速に展開されるようになって

た多言語表示、とりわけ共通性の高い3言語の漢語の使用状況を通時的観点を取り入れながら共時的観点で整理する必要が出てきている。筆者は現在北京で共通漢語を活用する方法で中国語の学習をしながら〈表1〉のⅠ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴのグループを中心にデータを集めている。「日中韓漢語動詞7000」（仮称）と名付けた基本資料集に、中国語の動詞を加えている。この資料集は筆者のみならず多くの日中韓3言語の学習者に役立つものになると信じている。

#### 5.2.4 理解語彙としての漢語の機能

多言語表示は日本だけでなく世界的流れになっている。国や地域の特徴も出ている。世界の多言語表示の動きから中国語はアジアだけでなく図76～図78の国々でも見られる。新型コロナの流行前までニューヨーク、パリ、ロンドン、ブダペストなどを回った筆者は、このような動きは公共表示よりは民間表示レベルでさらに増えていくと予想している。



図76 投票(ニューヨーク・2014)



図77 出発(パリ・2019)



図78 感謝(ロンドン・2019)

## 6 おわりに

本稿では、日本における言語景観、とりわけ語種の中で約半分を占めている漢語の用法に注目し、日中韓の3言語の共通語彙を中心に現状を取り上げた。共通語彙が多い中で離れていく語彙の様子も確認できた。また関連する外来語の動きについても触れた。

言語景観に関する研究は様々な角度から進んでいるが、観光立国を掲げている日本において、多言語表示はさらに増えると思われる。言語景観を視覚教材、文脈付きの視覚辞書として捉えている筆者は、とりわけ漢語を大学における外国語教育に役立てる方法を模索している。このためにはまず本稿で取り上げたように現状の把握が必要である。

韓国語の中の漢語の場合、中国語だけでなく日本語からの影響も大きく、近代化の中で作られた多くの漢語は日韓両言語で共通語彙として機能していることが分かった。今後中国語から受け入れた漢語、韓国で作られた漢語も合わせて分類・分析しながら世界中の漢語の景観の様子にも注目し、考察を続けたい。

\*謝辞：本研究は、神奈川大学共同研究奨励助成金（研究テーマ：多文化共生社会の言語景観—観光立国日本の多言語表示と情報発信を再考する（2020～2022年度，研究代表者：鈴木幸子）の支援を受けたものである。

### 注

- (1) 近年の多言語表示の可視の様子はこの言葉の意味を改めて意識させられる。「漢字文化圏」と名付けたのは河野六郎のようである。これの詳細については金文京編（2021：13）を参照されたい。『ジーニアス英辞典』（2011）に「漢字文化圏」が漢字の関連語として載っており、“Chinese character cultural sphere”と訳されて

- いる。
- (2) 筆者は本稿のため、2022年に札幌・神戸(2月)、熊本・鹿児島・宮崎・長崎(3月)、沖縄(6月)、秋田(7月)と随時東京、横浜、鎌倉で調査を行なった。本稿で用いる図(写真)は、いずれも筆者が現地でも撮ったものである。他にもここ数年福岡、金沢、富山、新潟、名古屋、京都などで調査を行なった。
  - (3) 韓国では1968年以降「한글 전용 정책(ハングル専用政策)」が維持されているため、基本的に漢字は用いないが、辞書の見出し語には漢字が併記されている。これは意味の把握に漢字の助けを得ていることを表わす。1970年から教科書、新聞もハングル専用になっているが、中国や日本の人名、地名、同音異義語などには漢字が併記される場合が多い。
  - (4) 九州(図7・図27)や関西の一部の地域、鎌倉(図25)では韓国語が簡体字中国語より先に表示されている。ソウルの言語景観では、日本語より簡体字中国語が先に表示される傾向が強くなっている。筆者はこのような傾向を「近隣性」や「友好性」の表われとして受け止めている。今後このような傾向はより多様化していくと思われる。
  - (5) フランス語は横浜、ロシア語は新潟と札幌、富山で見られ、鹿児島空港、新幹線の中ではタイ語が見られる。
  - (6) 本稿では2人の中国語母語話者にジャッジと助言を得た。高療さん(北京大学歴史学系博雅博士後・助理研究員)と黄俊天さん(神奈川大学外国語学部国際文化交流学科4年)に感謝申し上げる。
  - (7) 筆者は2022年11月18日(金)、北京市公安局を訪ねた、縦に書かれていた「北京市公安局」の写真を撮りたかったが、許可してもらえなかった。代わりに図29の警察官のポケットについている「北京市公安局」は撮らせてもらった。図28には筆者が住んでいる「海淀分局」、図29には「北京市公安局」のある「东城分局」が記されており、「警察署」の表示は見当たらない。
  - (8) 今筆者の前にある中国のミネラルウォーターには「天然水」と表記されている。これは日中の共通語彙として認めてもよさそうである。
  - (9) 「消火器」は日中で異なるが、「消火栓」は日中韓で共通語彙である。
  - (10) 日本の大学生5人に「蹴球」「排球」「籠球」の使用状況を聞いたところ、話し言葉ではない、使ったことがないと返答を得た。実際、いずれの協会も「日本サッカー協会」「日本バスケットボール協会」「日本バレーボール協会」という名称である。韓国の場合は「대한민국농구협회(大韓民國籠球協會)」「대한축구협회(大韓蹴球協會)」「한국배구연맹(韓國排球聯盟)」で、中国の場合は「中国足球协会」「中国排球协会」「中国籃球协会」になっている。
  - (11) 沖森・蘇(2014:104)に「現代中国における日本からの借用語は1000語ほどであると言われるが、それら「生産・主義・知識・階級・自然・幹部」などが基本的な常用的な語彙である事実は…(中略)」と述べられている。ここで取り上げられている漢語は韓国でも一般的に使われていることから、韓国は日中両国から多くの漢語を取り入れたことになる。沖森・阿久津(2015:101)に現代日本語の中国語への移入状況も取り上げられている。「完勝・惜敗・直撃・人気」と「必殺・充電・達人・好調、王道、語感、知性、自閉症」などは韓国語にも入っているが、「定番・熟女・芸能界」の用法はない。「熟年離婚」の影響と思われるが「황혼 이혼(黄昏離婚)」がわりと使われており、マスコミで新造語の「卒婚」はそのまま「황혼(卒婚)」として用いられている。
  - (12) 韓国での分類と使用については、国立国語院の『標準国語大辞典』(インターネット版)を参照されたい。
  - (13) 韓国の国立国語院の『標準国語大辞典』(インターネット版)によると、名詞は73.883%、動詞は15.479%である(2022年11月20日検索)。名詞が動詞の4.7倍以上を占めている。
  - (14) これ以外に、「現場」「場面」「眼鏡」などがある。
  - (15) 日本語は和語または混種語なのに韓国語は漢語の場合であるが、これが直ちに日本語の影響だとは言えないところがある。「花園」は「はなぞの」と「かえん」の2つの読み方があるが、一般的には「はなぞの」で用いられている。中国語に音読みの「花園」があり、どの言語からの影響かは分からない。リストに加えたが、細かい分析までには至っていない。
  - (16) 実際、北京の老舗には「敬老商号」という看板がついている。
  - (17) 北京市内では「卫生间」も多く見かける。韓国語の場合、今は「화장실(化粧室)」の1語しか使われていないため、語感の違いが気になってネイティブの方に訊ねてみた。「洗手间」の方が「若干新しくて文明的かな」という回答を得た。

## 参考文献

- 磯野英治 (2020) 『言語景観から学ぶ日本語』大修館書店
- 沖森卓也・阿久津智 [編著] (2015) 『ことばの借用』朝倉書店
- 沖森卓也・蘇紅 [編著] (2014) 『中国語と日本語』朝倉書店
- 金文京 [編] (2021) 『漢字を使った文化はどう広がっていたのか 東アジアの漢字漢文文化圏』文学通信
- 国道交通省・観光庁 (2014) 「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」
- 佐渡島紗織・小林良子・齋藤真美「地下鉄案内板にみるローマ字表記——東京における1999年の実態」  
庄司博史・P・バックハウス・F・クルマス (2009) 『日本の言語景観』三元社
- 南出康代・中巴光男 [編集] (2011) 『ジーニアス和英辞典 第3版』大修館書店
- ベート・バックハウス (2011) 「言語景観から読み解く日本の多言語化——東京を事例に——」内山純蔵監修  
『世界の言語景観 日本の言語景観 景色のなかのことば』桂書房
- 尹亭仁 (2015a) 「ソウルの言語景観——英語・日本語・中国語の表記を中心に」『人文研究』187号 pp. 17-36  
神奈川大学人文学会
- 尹亭仁 (2015b) 「日韓両言語における漢語動詞の「負の転移」をめぐって——2字漢語動詞を中心に——」『神奈川大学言語研究』37 pp. 1-26 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2021) 「日本における韓国語の言語景観と活用の可能性 (1) ——韓国語の漢語語彙力の向上の観点から——」『神奈川大学言語研究』43 pp. 1-34 神奈川大学言語研究センター
- Landry, Rodrigue and Bourhis, Richard Y. (1997), Linguistic landscape and ethnolinguistic vitality: An empirical study. *Journal of Language and Social Psychology* 16, 23-49.